

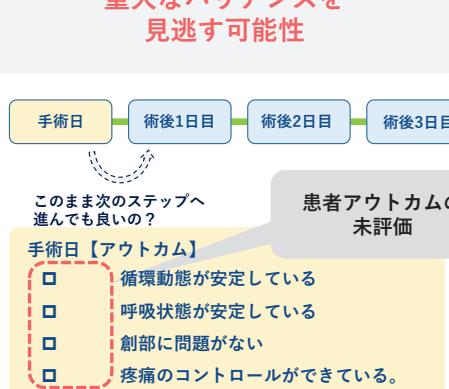
患者アウトカム未評価チェックの効率化と今後の展望

愛媛県立中央病院
看護部 竹田 直弘

患者アウトカムの未評価

重大なバリアンスを見逃す可能性

正確なバリアンス分析ができない



第20回 愛媛クリニカルパス研究会

筆頭発表者のCOI開示

筆頭発表者氏名：竹田 直弘

所属：愛媛県立中央病院

演題発表に関連し、

開示すべき利益相反(COI)関係にある企業等はありません。

アウトカム未評価のチェック作業

■ 未評価のチェックは各病棟パス係の判断としていた。

約半分の **7** 病棟が実施 (2022年時点)

■ 病棟パス係が分担して作業

- 月または週ごとにパス適用患者の **カルテを一つずつ確認**
- 患者一人当たり **3～5 分**
- パス係一人当たり **30～60 分／月** 程度の作業

最大 **180** 分／月



アウトカム未評価件数の集計

電子カルテのバス統計機能



未評価を集計する機能はない。

DWH (Data Ware House)



データは抽出可能。

複数データの結合が必要 (入退院・バス適用・アウトカム評価・バリアンス)

不要なデータが存在する (未入院・入院期間外のアウトカムデータ)

データの結合は、関数を使用し、不要なデータはソートして削除

Microsoft® Access を用いたデータ抽出

大量のデータを目的に合わせて取り出す

複数のテーブル (表) を結合させて出力する

データを、様々な形式でレイアウトする

集計内容

■ 1か月単位で前月分を集計

■ 未評価件数と未評価率を計算

件数のみだと使用頻度の高い病棟は必然的に高くなるため、未評率も計算

■ アウトカム単位でカウント

1日単位ではなく、複数のアウトカムがある場合、すべてカウントする

■ 病棟別に集計

抽出データ

患者移動情報

項目名
入院日
退院日
病棟名称

⋮

項目名
バス開始日
バス終了日
バス名称

⋮

バス適用情報

項目名
アウトカム日付
アウトカム結果日付 (アウトカムを評価した日)

⋮

アウトカム情報

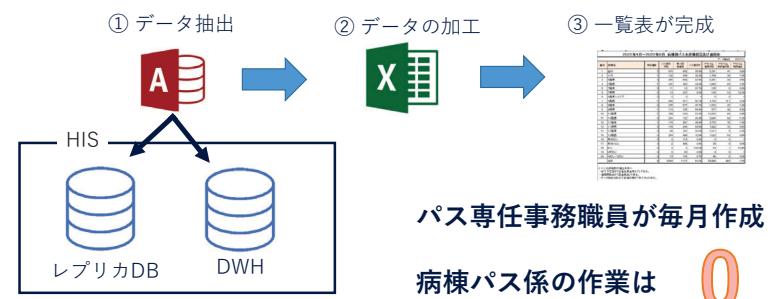


作業手順

① Microsoft Accessで結合データを作成

② ひな型のエクセルシートに貼り付け

③ 月別・累計の表が完成



2022年7月～

2022年8月 病棟別バス未評価状況及び適用率

番号	病棟名	未評価件数	バス通用件数	新入院患者数	バス適用率	データ抽出日 2022/8/12		
						アウトカム適用件数	アウトカム未評価件数	アウトカム未評価率
1		0	136	134	101.5%	1,131	22	1.9%
2		0	19	74	25.7%	276	3	1.1%
3		0	70	106	64.8%	1,171	5	0.4%
4		0	59	106	54.6%	556	12	2.2%
5		0	0	0	-	0	0	-
6		0	6	90	6.7%	79	5	6.3%
8		0	79	86	91.9%	913	58	6.4%
9		0	55	116	46.6%	452	2	0.4%
10		1	31	43	72.1%	234	15	6.4%
11		1	53	111	47.7%	1,813	23	1.3%
12		0	46	136	33.8%	645	27	4.2%
13		1	31	89	34.8%	475	5	1.1%
14		0	28	42	66.7%	1,288	12	0.9%
15		0	13	60	21.7%	206	0	0.0%
16		0	66	87	75.9%	1,355	20	1.5%
17		0	0	25	0.0%	0	0	-
18		0	0	96	0.0%	0	0	-
19		0	2	2	100.0%	22	0	0.0%
20		0	0	16	0.0%	0	0	-
21		0	4	40	10.0%	24	0	0.0%
合計		3	698	1,467	47.6%	10,640	209	2.0%

アウトカム未評価集計の改善

病棟スタッフへ個別指導をしたい

集計だけでは評価を忘れているスタッフには伝わらない

いつ、どの患者に、どのようなアウトカムの評価が抜けていたのかが知りたい

当日の各勤務の受け持ち看護師(看護師業務分担情報)を追加した一覧を作成

評価予定日以降にアウトカム評価をした『隠れ未評価』に対応

評価のルール：翌日の日勤の初めまでに評価する。

評価日の翌10時以降に評価したもの事を後入力として一覧を作成

アウトカム未評価一覧 未評価・事後入力をシートで分ける

2023年7月～

バス適用病棟名称	患者ID	患者氏名	患者年齢	性別	診療科名称	バス名称
小児			11	男	整形外科	上肢抜糾術(小児)
小児		51女			小児科	急性気管支炎・ウイルス性肺炎治療(小児)
小児		51女			小児科	急性気管支炎・ウイルス性肺炎治療(小児)
小児		51女			小児科	急性気管支炎・ウイルス性肺炎治療(小児)
小児		31男			耳鼻咽喉科・頭頸部外科	口蓋扁桃摘出術・アデノイド切除術(小児)
小児		31男			耳鼻咽喉科・頭頸部外科	口蓋扁桃摘出術・アデノイド切除術(小児)

バス開始日	バス終了日	アウトカム日付	アウトカム名称	アウトカム	アウトカム	評価日付	評価	アウトカム
2023/6/4	2023/6/6	2023/6/6	未梢循環障害の症状・所見がない			2023/6/6	問題なし	継続
2023/6/5	2023/6/9	2023/6/9	食事摂取ができる					中止
2023/6/5	2023/6/9	2023/6/9	呼吸状態が安定している					中止
2023/6/5	2023/6/9	2023/6/9	発熱がない					中止
2023/5/1	2023/5/8	2023/5/8	疼痛のコントロールができている					
2023/5/1	2023/5/8	2023/5/8	創部に問題がない					
2023/5/1	2023/5/8	2023/5/8	食事摂取ができる					

評価日付	評価	アウトカム	入院日	退院日	当日深夜	当日日勤	当日準夜	翌日深夜
2023/6/6	問題なし	継続	2023/6/4	2023/6/6				
		中止	2023/6/5	2023/6/12				
		中止	2023/6/5	2023/6/12				
		中止	2023/6/5	2023/6/12				
		中止	2023/5/1	2023/5/8				
		中止	2023/5/1	2023/5/8				

ファイル共有

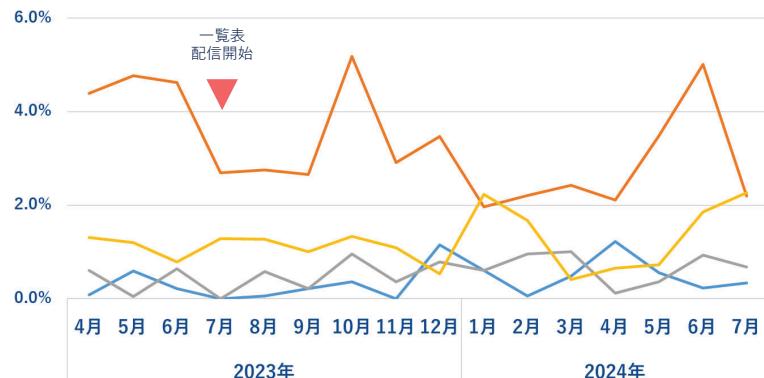
ファイル管理

個人フォルダ

アウトカム未評価率の推移



病棟別アウトカム未評価率の推移



患者アウトカム評価の必要性について教育を強化

1. パスから逸脱していないかを確認
バリアンスに対応



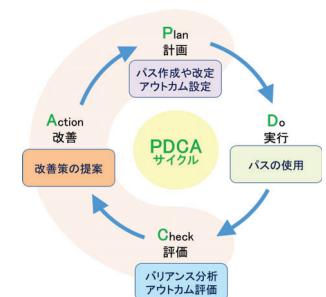
このまま次のステップへ

すべて達成
OK!

手術日【アウトカム】

- 達成 循環動態が安定している
- 達成 呼吸状態が安定している
- 達成 創部に問題がない
- 達成 痛みのコントロールができている。

2. バリアンス集計
パス改定に活用



未評価一覧の活用と集計方法の改善

・ 一覧表を活用するための働きかけ

活用ができない。

リンクナース会やバス大会を通じて一覧表の活用をすすめる。



・ 集計方法の改善

毎月の集計だけでは、日々の業務で未評価を回避することは難しい。

その日の未評価状況を把握することが未評価の軽減につながる。

Microsoft® Accessのタイムスケジューラ機能や、

RPA (Robotic Process Automation) 等を使用した自動集計

まとめ

- Microsoft® Accessを用いてアウトカム未評価を集計することができ、病棟バス係の作業負担を軽減することができた。
- アウトカム未評価を減らすため、バス教育の強化、集計データの活用と集計方法の改善が課題である。
- 今回の取り組みは量的監査であることから、質的監査も併せて行うことでバス医療の充実を図っていく。



日時 2024年 10月4日金・5日土

会場 愛媛県松山市

愛媛県県民文化会館



会長 羽藤 慎二 先生

国立病院機構四国がんセンター
院長補佐、患者・家族総合支援センター部長
病院情報管理部長

10月5日(土)

E会場 パス推進活動3 9時30分～10時29分
「パス監査による改定と記録の課題」

愛媛県立中央病院 看護部 阿部 智賀

まっとるけんね！



第24回 日本クリニカルバス学会学術集会
サポートキャラクター：Pasumin



ご清聴ありがとうございました。

県民の安心のよりどころとなる病院であること

愛媛県立中央病院

